



こんにちは **日本共産党**

**清水とし子**です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール [jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp](mailto:jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp)

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

## 介護保険料抑制のための日本共産党の提案実る

今年4月、介護保険料が改定されます。次期介護保険料を下げるため、昨年12月市議会で日本共産党清水とし子市議は3つの提案を行いました。その後、市民の意見募集で寄せられた声も踏まえて見直し作業が進められていますが、日本共産党の提案した方向で進んでいることが明らかになりました。

### ① 予定収納率 98.5%→98.8%に

介護保険料は、「滞納等で不足が見込まれる分」をあらかじめ保険料に上乗せします。予定収納率を低く見積もると上乗せ分が多くなり、余分の保険料を払うこととなります。

素案は予定収納率を98.5%としていました。日本共産党は、H28年度決算の収納率99%に近づけるよう求め、98.8%に見直しされる方向です。

### ② 介護給付費準備基金取り崩し4.2億→4.84億に

介護保険では計画期間中に余った保険を介護給付費準備基金として積み立て、次の計画期間の保険料抑制に使うことになっています。前期の基金残高は5.6億円。しかし、素案では、次期保険料抑制に使われるのは、その75%4.2億円だけでした。日本共産党は全額保険料抑制に充てるよう求めました。その後、介護給付費準備基金取り崩し額は、85%4億8400万円に増える方向です。

### ③ 高額所得者に応分の負担を

素案では、介護保険料基準額の第5段階の人の所得に占める保険料負担割合は8.4%で一番重く、所得400万円以上の層では1%台と軽くなっていました。日本共産党は負担割合を公平にすることを求めました。その結果、1000万円以上の所得段階の負担割合が変更になりました（下表）。

第12段階	合計所得1000万～1200万未満	基準額の2.2倍→2.25倍
第13段階	合計所得1200万～1400万未満	基準額の2.4倍→2.5倍
第14段階	合計所得1400万以上	基準額の2.6倍→2.75倍

# 安心して住み続けられる家賃制度へ UR団地



2月2日、日本共産党市議団は日本共産党山添拓参議員とともに、UR（独立行政法人都市再生機構）団地の家賃問題等でUR・国交省に対して住民の声を伝え、URの見解をうかがいました。

（写真：右二人目から、清水市議、大高市議、山添参議員）

## 近隣賃貸住宅に比べて高い UR多摩平の森

UR多摩平の森は、市立病院、大きな公園、商業施設、駅も近く、バリアフリーで大変住みやすいと、市内外から転居されてきたかもたくさんいます。

しかし、その家賃は高く「負担が重い」「夫婦の時は良かったが、一人暮らしの年金では大変」といった声が寄せられています。

近隣の民間賃貸住宅に比べても割高です。

### 多摩平の森の家賃 (UR募集案内より)

1DK (40㎡)	81,900円
2DK (55㎡)	106,200円
2DK (55㎡)	111,600円
2LDK (60㎡)	120,000円

## 年金暮らし世帯が増え、家賃負担重い

また、「UR団地に住んでいる方の高齢化が進んでいること、収入の減少についてどのような認識を持っているのか」という質問に対してURは、「5年に1回の定期調査を実施しており、世帯収入が減少しているという認識は持っている」と答えました。

全国公団住宅自治会協議会が昨年行った「第11回団地の生活と住まいアンケート」調査によると、年金受給世帯は7割を超え、世帯収入は242万円未満の世帯が49.3%に上り、経済的に厳しい居住者の実態が明らかになっています。

## UR団地も市の家賃助成の対象に

日野市は民間賃貸住宅に住む65歳以上高齢者に対して、月額家賃の3分の1（上限1万円）を助成しています（所得制限生活保護基準の1.3倍）。

日本共産党はこの制度をURや公社住宅にも適用すること、高齢者だけでなく若者・子育て世代にも対象を広げることを求めています。

